

## 日本地域看護学会 第 27 回学術集会 (ハイブリッド開催)

**日時**：6月29日(土)～6月30日(日)

**開催方法**：現地会場、オンデマンド配信(～7月31日)

**会場**：AER(アエル)(5～7F/21F)(仙台市青葉区)

**テーマ**：地域看護のソーシャルイノベーション—地域社会の包容力を高める看護の挑戦

**プログラム**：会長講演「地域看護のソーシャルイノベーション」大森純子(東北大学大学院医学系研究科公衆衛生学分野教授)／基調講演「地域看護の可能性と展望」秋山正子(株式会社ケアーズ白十字訪問看護ステーション統括所長)／「地元に根を張る地域看護の挑戦」中村順子(NPO法人ホームホスピス秋田理事長)／特別鼎談「地域社会と共に変革する看護」浦山美輪(東北大学病院副院長・看護部長)、杉内美佐子(医療法人社団愛生会昭和病院副院長・看護部長)、日向園恵(日本赤十字社石巻赤十字病院看護部、老人看護専門看護師)／シンポジウム「地域社会の未来を変える看護—その人らしい育ち・子育てを応援するソーシャルキャピタル」塩野悦子(東北福祉大学健康科学部教授、宮城県助産師会会長)、遠山裕湖(宮城県医療的ケア児等相談支援センターちるふぁセンター長)、小川ゆみ(一般社団法人マザーウイング理事長、のびすく泉中央館長)／リレートーク「地域社会の変容を起こす看護—鶴ヶ谷地区における地区保健活動とそれを包含する地区住民の活動」佐野ゆり(仙台市健康福祉局保健衛生部健康政策課健康政策課

長)、畑山明美(仙台市宮城野区保健福祉センター家庭健康課課長)／教育講演「住民の生活を支える看護拠点」小野久恵(有限会社あおい代表取締役、宮城県看護小規模多機能型居宅介護事業所協議会世話人代表)／「住民と育てる地域医療マインド」丸山博行(青森県立中央病院地域医療支援部部長)／「住民と共に歩む復興の道のり」工藤奈緒美(福島県双葉郡富岡町健康づくり課健康づくり係係長)／「多文化共生を叶える文化的能力」小笠原理恵(大阪大学大学院医学系研究科国際未来医療学講座特任講師)／「地域ケアを支える地元ナースの養成」菅原京子(山形県立保健医療大学看護学科地域看護学領域教授)／「地域ケアを司る訪問看護の人材育成」高橋和子(宮城大学看護学群在宅看護学教授)／研究セミナー「疫学研究×地域看護」寶澤篤(東北大学大学院医学系研究科公衆衛生学専攻教授)／「AI学習×地域看護」岩崎淳也(東北大学医学教育推進センター講師)／「ロボット工学×地域看護」平田泰久(東北大学大学院工学研究科ロボティクス専攻教授)／ほか

**事前参加申込期間**：～6月3日(月)  
※6月4日以降は当日申込にて対応

**参加費**：会員[事前申込]1万円、[当日申込]1万2000円、非会員[事前・当日共通]1万2000円、学生(院生を除く)[事前・当日共通]2000円

**運営事務局**：株式会社ユピア

☎052-872-8101(平日10:00～16:00)

✉jachn27@yupia.net

URL <https://jachn27.yupia.net/>

## 日本家族看護学会 第 31 回学術集会 (ハイブリッド開催)

**日時**：9月14日(土)～15(日)

**開催方法**：現地会場、オンデマンド配信

**会場**：鎌倉芸術館(神奈川県鎌倉市)

**テーマ**：いま、語り合おう!臨床家の実践知、研究者の探究知、そして家族の体験知—ダイナミックな融合をめざして

**プログラム**：学術集会長講演「いま、語り合おう!家族看護の知のトライアングル」井上玲子(東海大学大学院医学研究科教授)／設立30周年記念企画(対談)「家族の変容にどう向き合うか」上別府圭子(国際医療福祉大学大学院教授)、山元一(慶應義塾大学大学院教授)等／[アドバンス助産師更新要件の選択研修対象]特別講演「お産の現場から家族の魅力を探る」井上裕美(湘南鎌倉総合病院産婦人科主任部長)／ランチョンセミナー2「痛くないMRI乳がん検診」高原太郎(東海大学工学部医用生体工学科)／[オンデマンド配信]「父親の産後うつ予防—家族看護の視点から」新井陽子(群馬大学大学院教授)／「特定妊婦の出産・育児—妊婦を取り巻く家族への支援」井上尚子(秦野市こども健康部)

**事前登録期限**：～7月29日(月)

**参加費**：

[事前] 会員1万円、非会員1万1000円

[当日] 会員1万1000円、非会員1万2000円 ※大学学部生(大学院生は除く)・専門学校生は当日受付のみ、学生証提示で無料

**運営事務局**

株式会社MAコンベンションコン

サルティング

〒102-0083 東京都千代田区麹町  
4-7 麹町パークサイドビル 402

☎ 03-5275-1191

✉ jarfn31@macc.jp

URL <http://jarfn31.umin.jp/index.html>

## 日本看護倫理学会 第17回年次大会 (ハイブリッド開催)

日時：6月22日(土)～23日(日)

開催方法：現地会場、オンデマンド配信

会場：東京医科歯科大学鈴木章夫記念講堂(東京都文京区)

テーマ：あなたをささえる私もまもられる倫理的環境

プログラム：会長講演 小笹由香(東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科)／教育講演「母娘で語る、SDGs な社会」磯野昌子(明治学院大学ボランティアコーディネーター)、磯野アサ(みんなのちきゅう)／特別講演「ジェンダーフリーな未来へ」藤田あき美(信州大学工学部准教授)、シンポジウム1「神経難病患者のケアをとおして考える、大切にしたいこと」／2「いまあらためて、説明と同意を考える」／ワークショップ「多様で複雑な、あなたの意思決定をささえること」／交流集会

参加登録期間：～7月31日(水)

参加費：会員1万円、非会員1万1000円、学生会員2000円

大会事務局：東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科リプロダクティブヘルス看護学

〒113-8519 東京都文京区湯島1-5-45

✉ jnea17th@gmail.com

URL <https://confit.atlas.jp/guide/event/jnea17/top>

## 第52回 JALC 母乳育児 支援学習会 (ハイブリッド開催)

日時・開催方法：

〔現地会場＋ライブ配信〕6月22日(土)～23日(日)

〔オンデマンド配信〕7月19日(金)10:00～10月10日(木)15:00

会場：TKP 市ヶ谷カンファレンスセンター(東京都新宿区)

テーマ：母乳育児支援の基本を見直す

プログラム：〔1日目〕「日本における母子保健政策と COVID-19 パンデミック、母乳率の推移」／「入院中の母乳育児支援(理論編)早期母子接触・早期授乳」／「入院中の母乳育児支援(実践編)早期母子接触・早期授乳」／〔2日目〕「授乳支援—ポジショニングとラッチ・オン」／「早期新生児の合併症の予防と対処法—黄疸と低血糖、母乳育児を続けていいの?」／「生後1週間の補足—赤ちゃんとお母さんにやさしい支援を目指して」／「混合栄養がいいって、ホント?」／「混合栄養やミルクを希望する母とその家族への母乳育児支援—共感して話を聴くことの意味とは」

対象：母乳育児を支援する専門家(助産師、看護師、保健師、医師、歯科医師、栄養士、保育士など)以外に、学生、その他母乳育児支援に興味のある人

参加申込：下記 JALC の公式ウェブサイトの申し込みフォームより

URL <http://jal-net.jp>

## 第52回全国性的教育研究 大会

日時：8月3日(土)～4日(日)

会場：宇都宮大学峰キャンパス(栃木県宇都宮市)

テーマ：すべての子供たちに夢と希

望が膨らむ性的教育を

プログラム：基調講演「学習指導要領に基づく性に関する指導」横嶋剛(日本女子体育大学教授・前文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課健康教育調査官)／講演「諸外国の性的教育事情と日本型包括的性的教育」野津有司(全国的性教育研究団体連絡協議会理事長・筑波大学名誉教授)／報告「第9回全国的性行動調査(速報)」日本性的教育協会／分科会Ⅰ「幼児期」「小学校」「中学校」「高等学校」「特別支援教育」／分科会Ⅱ「性別に違和感をもつ児童生徒への対応」「性被害、性暴力の防止教育の進め方」「性に関する個別指導」／講座「性的教育の外部講師のためのスキルアップ(基本コース)」

対象：教職員(保育園、幼稚園、こども園、小・中・高・特別支援学校、専門学校、大学等)、保健・医療関係者(医師、看護師、助産師、保健師等)、社会教育・福祉関係者、教育行政関係者、保護者、学生、他

参加費：両日参加5000円(学生1000円)、1日参加3000円(学生1000円)

申込方法：下記 QR コード、下記 Web サイトの申込フォームより

URL <https://forms.gle/QU5y3a1ogZdeUgGd8>



※当日参加は会場で受付

申込締切：7月22日(月)

大会事務局：全国的性教育研究団体連絡協議会事務局 長 福迫潮

✉ [zenseiren@galaxy.ocn.ne.jp](mailto:zenseiren@galaxy.ocn.ne.jp)